

● 予算委員会

令和8年度勝山市一般会計予算143.5億円と、令和8年度勝山市一般会計補正予算（第1号）、令和7年度勝山市一般会計補正予算（第8号）について審査を行い、いずれも可決しました。また、勝山市一般会計補正予算（第6号、第7号）に関する専決処分についても審査の結果、承認しました。

例年、3月定例会の予算委員会では新年度予算の審査を行うため、市政の重要課題を巡り議論が白熱します。今回も市民生活の向上や将来のまちづくりを見据え、さまざまな視点から多くの質疑や意見を交わしました。

新年度予算は、北陸新幹線の延伸や中部縦貫自動車道の整備促進により観光需要の拡大が見込まれる中、恐竜を核とした観光と学術の融合や、民間活力を最大限に活用した宿泊施設の整備促進などの施策が盛り込まれています。また子育て関連では学校や保育園等の給食無償化や給付型奨学金の創設、防災減災対策として防災行政無線の更新や避難所環境の整備、公共施設の再編など、幅広い分野にわたり取組が進められます。第6次勝山市総合計画に掲げる2つの「創る」と4つの「守る」の柱に沿い、まちづくりを推進する内容となっています。

ここでは、活発な議論があった内容を含めて報告します。

◆ ネイチャーポジティブ公園事業【新規・5,880万円】 （財源内訳 国2,200万円・地方債3,310万円・一般財源370万円）

国のネイチャーポジティブ公園事業を活用し、長尾山総合公園内に新たに広場及び駐車場整備等を行うため、測量・設計を実施。また、1期エリアの未買収地を取得する旨の説明がありました。

委員 事業総額11億円をかけて公園整備することには反対、絶滅危惧種であるオオタカ保全の観点からも事業の見直しが必要だと考える。

理事者 国や県の有利な財源（社会資本整備総合交付金、公共事業債）を活用していくことにより、市の実質負担額は約1億8,000万円と見込んでいる。公園の整備後は年間

普通交付税2,040万円が交付されるなど、市の負担を最小限にとどめながら財源確保に努めたい。オオタカを含めた猛禽類に対しては、都度専門家と協議しながら事業を進めている。緑の基本計画を軸に長尾山総合公園に生息する希少な動植物との共存を図りながら、市の発展に向けて2期エリアの用地買収も今後進めていきたい。

◆ 結婚支援事業費【1,245万円】 （財源内訳 国515万円・県480万円・一般財源250万円）

- ・ 婚活アドバイザーによる個別相談、スキルアップ講座や婚活イベント等と連携した併走型サポート体制の充実。
- ・ 異業種交流会の開催など未婚者を対象に交流会を2回開催する。

